

- ・そろそろ鴨池たんぼ行く？
- ・坂網猟、始動！
- ・鴨池のいきもの 11月
- ・ほんのいいとこドリ！
- ・TORI TOPICS Oct.
- ・イベントあるよ！

かっこめ
かっこめ



おめで月より
もっとコイ！

かもいけつうしん

鴨池通信

No.267/2015.11

霜月11月は酉の市。縁起物の熊手で引き寄せたいのはお金よりガンとカモ!? もっと来〜い!

坂網猟、始動！



↑マコモ刈りの後、草の量を減らすため、数日乾燥させてから火をつけて燃やします。

江戸時代から約330年続く加賀の伝統猟法「坂網猟」。新たに3名の猟師を迎え総員30名となった坂網猟師さんたちが、今年も11月15日から93日間にわたるカモとの真剣勝負に臨みます。この日までに猟師さんたちは池のマコモ刈りや構え場の整備など、鴨池が今年もたくさんのカモたちが集まる場所となるよう準備を進めてきました。11月8日には鴨供養祭を執り行い、昨年度の恵みに感謝をし、今年度の猟の無事を願いました。



↑今年の鴨供養祭。左上の大きな石が「鴨塚」。お神酒を供え、お坊さんにお経をあげてもらいます。

カモと鴨池を守りながら自然の恵みを楽しむ坂網猟は、ワイズユースの考え方に適うものとして、片野鴨池がラムサール条約の登録湿地に認定される決定打ともなりました。また、その歴史の中で洗練されていった猟具「坂網」や、一瞬のタイミングで結果が決まる猟法は石川県の有形民俗文化財にも指定されています。そして今年度から、坂網猟保存会が中心となって「坂網猟に係る文化基礎調査」と「坂網猟映像記録制作」の事業が始まりました。330年の節目に向けて、数々の貴重な資料をまとめ、次の世代に伝えていけるように保存会会員のみなさんや猟師さん、観察館レンジャーも動き始めています。もし、坂網に関する情報をお持ちの方がいらっしゃいましたら観察館までご連絡ください。以前坂網をされていた方、ご自宅に猟具や坂装束をお持ちの方など、ご協力をお願いします！

鴨池のいきもの11月

葦鴨

葦原にいる鴨で

とのことだ。古くはをしかもとも呼ばれていたという。をしどりつまりオシドリのように美しいカモということだ。失礼な。私の美しさは唯一無二のものである！似たものなどおらぬわ！見るがよい、この細部にわたって手抜きのない我が身の美しさを。陽光を受けてピロードの如く輝くこの顔、それを引き立てるかのようにモノトーンでまとめられたこの身体。

そしてしなやかに長く伸びたこの風切羽が、私が私であるなによりの証だ。言うておくがこの羽は決して尾羽ではない。三列風切だ。君たちもよく覚えておきたまえ。



鴨池のナポレオン ヨシガモ

鴨池はマガモどもが幅を利かせているようだが、我々と奴らを見間違えてはならぬ。ましてやハシビロガモどもなんぞと混同するなど言語道断だ。頭が緑色だからというだけで同一のものと思なすのは非常に不愉快である。頭全体が緑色ではないぞ。頭頂部を彩る赤銅色の帯に気づかぬのか？横顔ばかり見ているから見誤るのだ。正面からとくと見るがよい！顔の中央に燦然と白い星が輝いているのもわかるはずだ。美しさと威厳が全身に満ちあふれているこの姿。



頭の形がナポレオンハット↑みたいなのでこんな別名が！

そろそろ鴨池たんぼ行く？

朝晩の冷え込みで、吐く息が白くなる日も多くなってきました。鴨池の周囲の山の木々が色づくにつれて、ガンやカモもさらに増えています。これから注目なのが鴨池たんぼのすぐ向こう、9月に坂網猟師さんたちが刈ったマコモの枯れ野原です。刻一刻と変化していく鴨池の様子を追ってみましょう。

ヒシクイ、進撃開始！

マコモの枯れ野原に水がひたひたまで増えてくると、ヒシクイたちがマコモの根っこや葉を食べにどんどん乗り込んでいきます。強力なくちばしでもりもり掘ります！



おー今行くわー
キミらも来るかー？
これくらい深さのところは夕方に寒やれやさい危険なところ。行き戻りつたたんぼまで逃がしてきます。

カモ、追撃！

ヒシクイが足を踏み入れ根っこを掘ったところに水が入り込んでいきます。するとマコモに身を隠しつつ、カモたちも後に続いて枯れ野原までやってきます。時折オオタカに驚かされながらどんどん水面を広げていきます。

たんぼ来ちゃった♪

鴨池たんぼぎりぎりまで水面がくるともうあとは時間の問題。先にたんぼに入るのはヒシクイかカモか！？1羽入るとわらわらとなだれ込んで…→こんな状態に！



マコモ美味いわ〜
コメも美味いわ〜
ヒシクイがたんぼに入るとみるみるうちに穂がなくなっていきます。すごい勢いで。

ほんのいいとこドリ！

手にしたものはあらゆる動植物の声を聞くことができるという「ソロモンの指環」。今月ご紹介するのは旧約聖書の物語ではなく、生物学のひとつ、動物行動学のお話です。



コンラート・ローレンツ/著 日高敏高/訳 早川書房

ソロモンの指環 動物行動学入門
著者のローレンツ博士は、生まれたばかりのヒナが初めて見たものを親と認識する「刷り込み」を自分の体験と観察から発見した動物学者。博士を親と思いついてしまったハイロガンのヒナをはじめ、ニシコクマルガラス、トウギョなど様々な動物たちと生活を共にすることで見てきた数々の驚くべき行動から目が離せなくなります。身近ないきもの、を、じ〜っくり観察したくなる一冊。秋の夜長にぜひ！

文庫本や単行本、電子書籍など、いろいろあるよ!!お好みのスタイルで探してみてね!

イベントあるよ！

鴨池たんぼクラブ⑤
お餅つこっさ!
11月29日(日)
9:30~11:30
・定員は20名です。26日までに申し込みください。
・持ち物はタオル、飲み物です。
・参加費は無料(別途入館券をお買い求めください。大人310円・75歳以上150円・高校生以下は無料です)。



TORI TOPICS Oct.

- * 10月の鴨池に来た鳥・いた鳥・事件などなど、拡大版ハイライトをご紹介します!
- トモエガモ・シマアジ・スズガモ初認 (2日)
- ヒシクイ初認 (3日)
- ノスリ初認 (5日)
- コハクチョウ初認 (6日)
- 鴨池たんぼにヨシゴイ出現! (7日)

10月初めは初認ラッシュだったね!



- アトリ・シメ初認 (12日)
- ジョウビタキ初認 (14日)
- ビンズイ初認 (16日)

←鴨池たんぼの畦をひよこひよこ歩いているところを発見!大きさはハトと同じくらい。サギのなかまでは最小です。池の水面だけでなく、鴨池たんぼや周りの木々からも目が離せなくなりますね。



- オカヨシガモ初認 (19日)
- ハイタカ出現 (24日)

←鴨池ではあまり見かけないビンズイ。観察館前のエゴノキにちよこんといました。立ち止まるたびに尾羽を上下に振る仕草がセキレイのなかららしいですね。名前の由来は鳴き声からだとか。またおいで〜!

鴨池観察館通信紙 No.267 鴨池通信2015年11月号

発行：加賀市鴨池観察館
制作編集：加賀市総合サービス株式会社 田米希久代 櫻井佳明 中野夕紀子
〒922-0564 石川県加賀市片野町子2-1
TEL：0761-72-2200 FAX：0761-72-2935
E-mail：kamoike@kagashi-ss.co.jp URL：www.kagashi-ss.co.jp/kamoike/

Twitter Facebookで最新ニュースお届け中! Facebookはアカウントなしでも見られます!!

指や顔などで片方を隠すと読みとりやすいよ!